

利用・用途・応用分野

無料開放特許

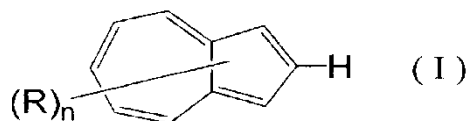
自動車、航空機、産業用・民生用機器における構造部材、強化プラスチック材料

目的・課題

解決ポイント

アズレン又はアズレン誘導体を出発原料として、2-ホウ素化アズレン誘導体を、比較的短時間で且つ高収率で得る方法を提供することを目的とする。

2-位の位置に水素原子が結合したアズレン又はアズレン誘導体、白金属元素の有機錯体からなる触媒、特に、 $[\text{Ir}(\text{X}(\text{cod}))_2]$ 等の有機イリジウム触媒、及びフェナントロリン又はその誘導体の存在下にホウ素化剤を反応させることにより、アズレン又はアズレン誘導体の2-位にホウ素化剤が置換した化合物を効率よく、高選択的に得られることを見出した。式(1)アズレン誘導体がグアイアズレンであることを特徴とする。



(式中、Rは、ハロゲン原子、炭素数1～10のアルキル基、アルケニル基、シクロアルキル基、アリール基又はヘテロアリール基を表し、nは0～7のいずれかの整数を表す。

研究概要・アピールポイント

極めて短時間で、且つ高収率でアズレン又はアズレン誘導体、特にグアイアズレンに対し、2位の位置にホウ素化合物基を導入することが可能。医薬品等に有用なグアイアズレン基を導入するのに適したアズレニル化剤を得ることが可能。

◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティー・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp